

第12回全国車いす アクセス・マニア集会 in京都 7/20,2014

日時：7月20日(日曜日)

13時より～16時30分まで

場所：京都市生涯学習総合センター
(京都アスニー) 5階第7研修室

住所：〒604-8401 京都市中京区聚楽廻松下町9の2
JR・地下鉄「二条駅」徒歩10分程度、
市バス「丸太町七本松(京都市中央図書館前)」下車
<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/asny1/asnymap.html>



●参加費は無料ですが、
会場使用料協賛費として
300円ご負担をお願いします。

開催目的、車いすアクセス・マニアとは

現在の日本では、歩けなくなっても、どんな重度の障害があっても、それに応じた車いすを使い、公共交通を利用して旅行したり、行きたい所に行くことができます。そんな旅で味わう楽しさ・困難さの全てを、より楽しさに変えてしまう“アクセス・マニア”達の、旅の自慢話を聞き、自分も発表して、電車や路線バスを利用する仲間を増やそうとする集まりです。

平成15年・東京都国立市で開催されて以来、京都・愛知・香川・福井・滋賀・茨城・神奈川・大阪・東京・神戸で行われ、今回の京都市で12回目となります。「全国」というタイトルは、日本全国の車いすでの旅の話をするという意味で、別に全国の車いす旅行仲間が集まる訳ではありません。けれど、車いすでのアクセスの最新の動向、全国各地のアクセス状況を目いっぱいご紹介いたします。今回は海外編として、台北の車いす旅の報告も予定しています。

かつて駅にエレベーターが無かった頃、あらゆる方法で電車にもバスにも乗ろうと挑戦し「ある時は”トラベル”時どき”トラブル”を全国で起こしていた旅行者がいました。今では数を増やし、バス・列車・船・飛行機など、あらゆる乗り物を利用し、国境をも飛び越えるのが普通になってきました。でも、“乗れない公共交通”は、まだまだ多く存在します。そこを培った“乗る技術や交渉力”をフルに発揮し、人様の助けも借りて、ある時は内規も変えさせて、行けるとこまで行く。

そんな旅行者を“車いすアクセス・マニア”と言う！

なんだかんだと言っても、車いすで旅行する自慢話しの集会かも？と揶揄する向きもありますが、この集会に参加する貴方が「バスや列車に2倍3倍と乗れば、世の中が変わるかも」と感じればオモウツボなのです。



奥の建物5階

レギュラー講師

◎今福 義明 (アクセスジャパン代表)

電動車いすユーザーとしての視点から徹底して、バリアフリー化を求めていく交通バリアフリーファイター。「どこでも行く、年間500回バスに乗る」を実践して、国内も海外も出かけている、車いすアクセスや交通問題の第一人者。

「ACCESS-JAPAN」

<http://www.access-all-japan.jp/main.htm>

◎アシトド松井 (車椅子電車評論家)

脊髄損傷とオストメイトの重複障害者。当初は自動車でのみ移動していたが、突然、電車で行動するようにライフスタイルを変更、趣味は史跡・城跡めぐり。国内全県踏破を達成し、ほとんど知らざるは無しの旅のベテラン。

「アシカなくてもトドまらず」

http://ashitodode.gozaru.jp/index_002.htm

◎山名 勝 (アクセス関西メンバー)

ハンドル形電動車いすの公共交通利用問題の第一人者。世界中で日本だけの、いわれなき乗車拒否解消に執念を燃やしている。単なる旅マニアでなく広い知見からアクセス問題を考え、情報提供している。

「どこにでも行こう車いす」

<http://kurumaisyu.exblog.jp/>

「Facebook」

<https://www.facebook.com/masaru.yamana>

◎頼尊 恒信 (NPO法人CILだんない事務局長)

都市圏の交通アクセスのデータベース化の研究に加わっていたが、近年では滋賀県北部にCILを設立し、地方圏域のアクセス問題が関心事となっている。また、各地のバリアフリー応援やフェリー乗船を精力的に行っている。

◎「旅の話」当日の発表者を募集しています。

(一人20分程度)

話だけでもOKですが、プロジェクターで映写出来る準備をしていますので、写真があればスライドやパワーポイントのデータをUSBメモリーでご持参ください。

問い合わせ・事前申し込みは下記へメールしてください。

(今福) access@access-all-japan.jp

(山名) cuhww502@occn.zaq.ne.jp